

III. 新中期経営計画

(2013年3月期～2015年3月期)

Innovate 2014

～未来を創る革新者として～

企業理念・企業文化・事業コンセプト

企業理念

幸せづくりのパートナー

～人に社会に環境に、もっと豊かな輝きを～

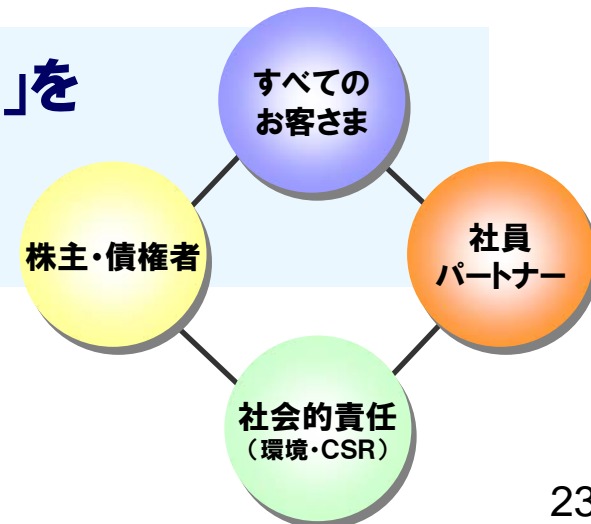
企業文化

“Challenge & Change”

環境の変化をいち早く捉え、新たな領域を切り拓いて、自らを進化させていく。

事業 コンセプト

航空分野で培われた「安心」「安全」を礎として、高品質で独自性ある事業・商品・サービスを創造する。



環境認識および経営課題

事業環境	1	先進国経済の低迷と新興国経済の急伸、円高の長期化
	2	東日本大震災以降のエネルギー制約・環境問題
	3	社会保障制度と消費税を含む税制の抜本改革
	4	オープンスカイ推進やLCC参入による航空・空港業界の変革
	5	日本航空の再興・業績回復・再上場への動き
経営課題	1	収益面での回復を果たしたが、トップラインが減少
	2	新規事業開発やグローバル化への対応
	3	グループシナジー最大化の追求
	4	戦略的アライアンスによる協業効果の実現とネットワーク拡大
	5	多様化するリテール事業での付加価値の提供

環境変化への先見力(先読み)と適応力、
イノベーション・マインドが必要

中期経営計画の全体像(概観)

FY2012-2014 JALUXグループ中期経営計画 「Innovate 2014」

次代に向けた成長軌道の確保

中期最終年度目標：連結売上高1,200億円、連結経常利益30億円

**新たなコアの
創出**

積極的な事業開発

事業の拡充

既存事業の深耕・
拡幅・新陳代謝

構造の強化

改善した収益力の
更なる向上

「航空」・「空港」・「食品」およびそれらに派生するドメインでの安定性強化

最も重要な資産たる
「人材」の育成と活用

積極的・主体的な
企業風土の醸成

成長軌道の確保イメージ

■ “次代に向けた成長軌道”の構築

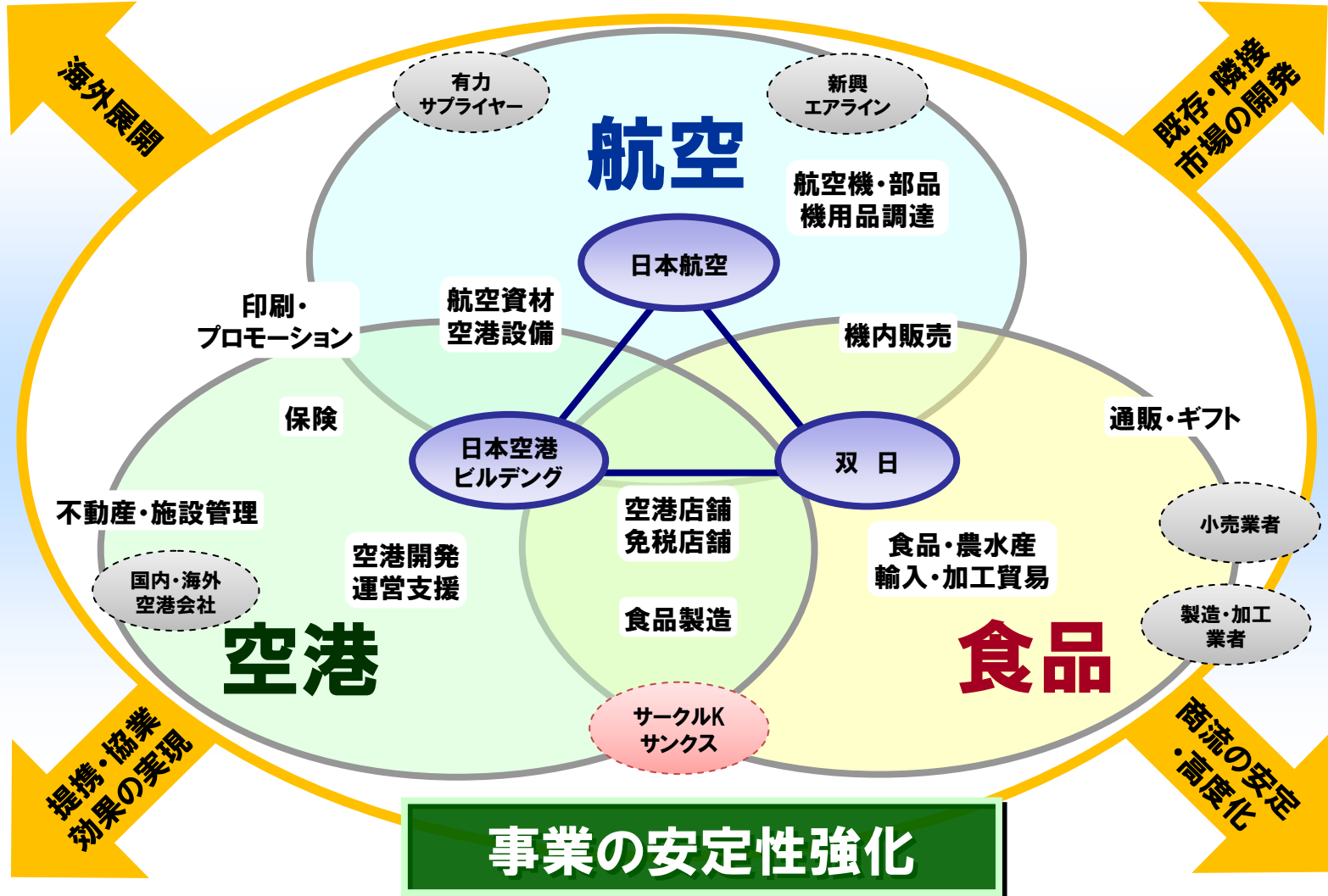


■ “新たなコア事業の創出”の原資

- ・ 「航空」「空港」「食品」とそれらの派生ドメインでの新規開発
- ・ 投資余力として**有利子負債による30億円の投資枠**を確保、活用
- ・ 既存事業の設備投資等は別途調達
- ・ 将来の事業の安定性構築につながるバランスのよいポートフォリオを構築

基本方針 中核事業領域

「航空」「空港」「食品」およびそれらに融合・派生するドメイン
において、安定的な利益成長を図る



個別事業戦略(1) ～航空関連事業～

航空・空港に密着したノウハウを活かし、新たなビジネスモデルを展開



「航空」「空港」分野
の多様化に対応

JALUX 航空関連事業

- 米州マーケットへの進出
- 調達能力を活かした新規分野への進出
- 国内外の空港経営に参画



航空関連事業の成長戦略

具体的な取組み(抜粋)

企画提案力の強化

- 航空機のライフサイクルをトータルマネジメント
- エアライン向け調達ビジネスで培ったノウハウを輸送関連産業等へ展開
- 製造会社への出資を視野に、空港特殊車両製造へ参入

新規マーケットの開発

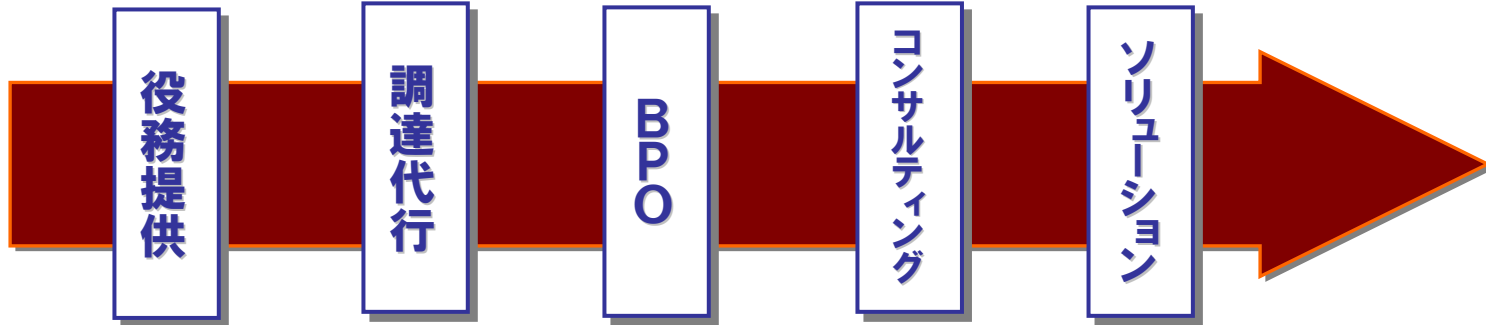
- 日本・米州での品質管理に係る認証取得
- 産業用ガスタービン・新型エンジン部品の調達力強化
- 日本の技術力を海外に



(写真:ラオス・ビエンチャン空港ターミナル)

個別事業戦略(2) ~メディア・ライフサービス事業~

受託型事業から提案・創造型事業への転換



戦略的事業子会社を通じた展開

航空・空港系で培った
質の高い個人向けサービスを
外部展開

JALUX保険サービス
JALUXトラスト

プロモーション事業

- 旅行者をフォーカスしたセールスプロモーション事業の創出

保険事業

- M&AやBPOの推進により商圏とスケールメリットを拡大

不動産事業

- 法人寮・社宅の開発に加え、シニア住宅・サービス付アパートメント等の新規商品開発に展開

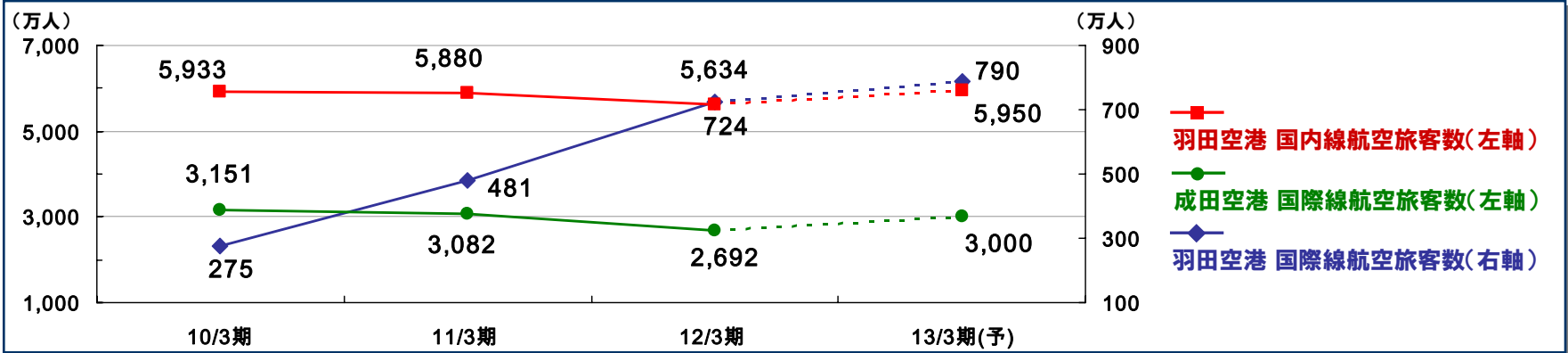


個別事業戦略(3) ~リテール事業~

空港を基点とした“リテールバリューチェーン”の強化

2013年羽田・成田空港 旅客数の推移(予測)

出所:日本空港ビルデング(株)2012年3月期
決算説明会資料を基に当社作成



LCC参入などに伴う
航空旅客数の回復

免税店・機内販売・
空港店舗の連携強化

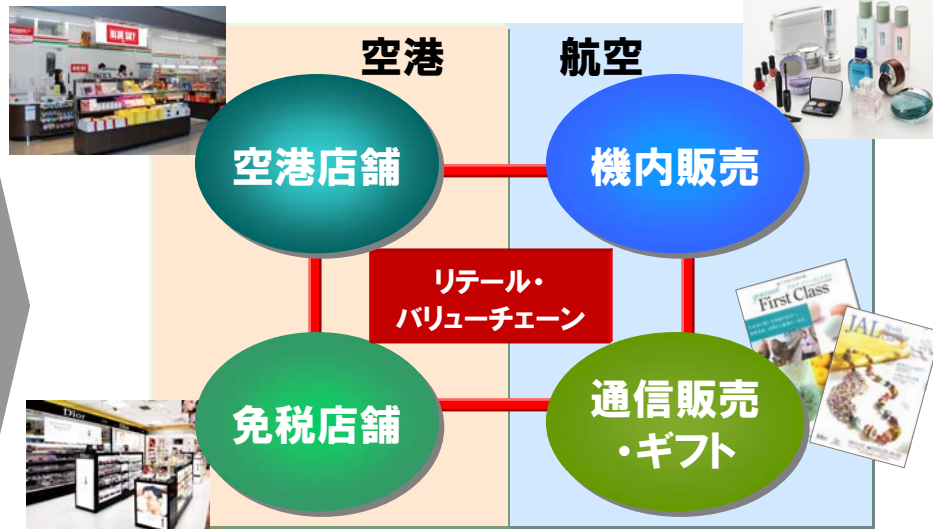
複合的な販促
キャンペーンの実施

付加価値の高い商品開発

商品・コーホレートブランドの確立

自律的連携とシナジーの追求

アライアンスによる
相互の利益享受の具現化
とネットワークの拡大



<リテール・アライアンス>

■日本空港ビルデング(株) ■(株)サークルKサンクス

個別事業戦略(4) ~フーズ・ビバレッジ事業~

「食の安心・安全・品質」の追求とグローバル展開の推進

海外での**原材料調達力**を武器に、独自性のある**新規商材開発**と**加工バリエーション**により、商品の差別化を推進。

品質管理を徹底し、「食の安心・安全」「食と健康」をテーマに、**信頼のブランド**を確立。

JALUX F/B事業の強み

調達力差別化

グローバル展開

ブランド付加価値

「食」の一貫事業

競争力強化のため、ASEANでの**加工拠点確保**や**海外販路の開拓**を推進。日本食の輸出・ブランドの進出を支援。

安定的な需要確保、収益の最大化を目指し、アライアンス等を活用した**一貫事業(サプライチェーン)**の強化。

食料資源不足
価格高騰

食の安全
少子高齢化

アジア市場の拡大

開発

調達

製加工

物流管

販売



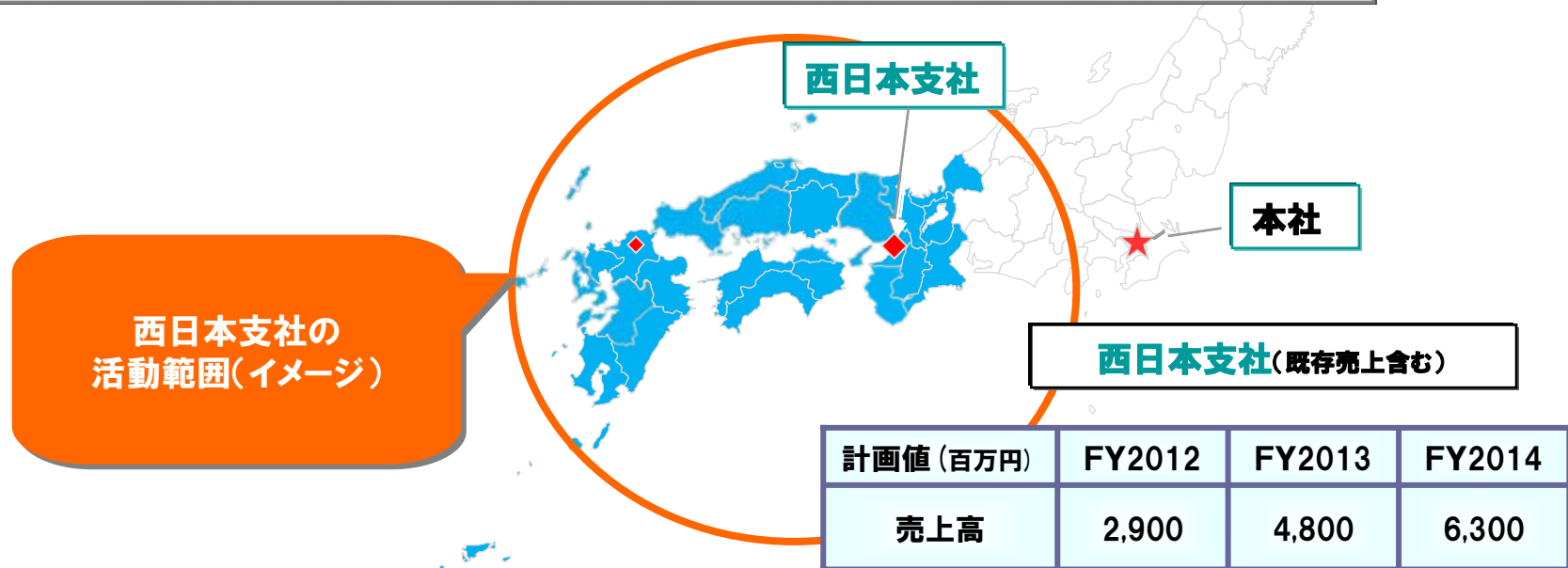
地域戦略(1/2) ～国内市場～

西日本支社設置(2012年7月)・・・国内の未開拓市場での掘起し

新たな商機獲得とスピーディな顧客対応を目的に、西日本エリアを活動範囲とする事業拠点を大阪に設置し、国内の未開拓市場での掘起しを行う

■ 基本方針

- ・西日本支社独自の付加価値を創出し、差別化を図って利益拡大を目指す。
- ・グループ内の横断的営業(クロスセル)とアライアンスを活用し、早期の事業安定化を図る。



地域戦略(2/2) ~海外市場~

新規マーケットの開拓と調達・加工機能のグローバル化を加速

■ 事業運営の洗練

- ・グループ内連携の強化
- ・各拠点の機能再構築の推進
- ・事業基盤強化

■ 新たなコア事業の構築

- ・各地域における事業シーズの掘り起し
- ・事業開発のスピードと確度の向上



“幅と厚みを持った競争力のある人材”の育成と活用



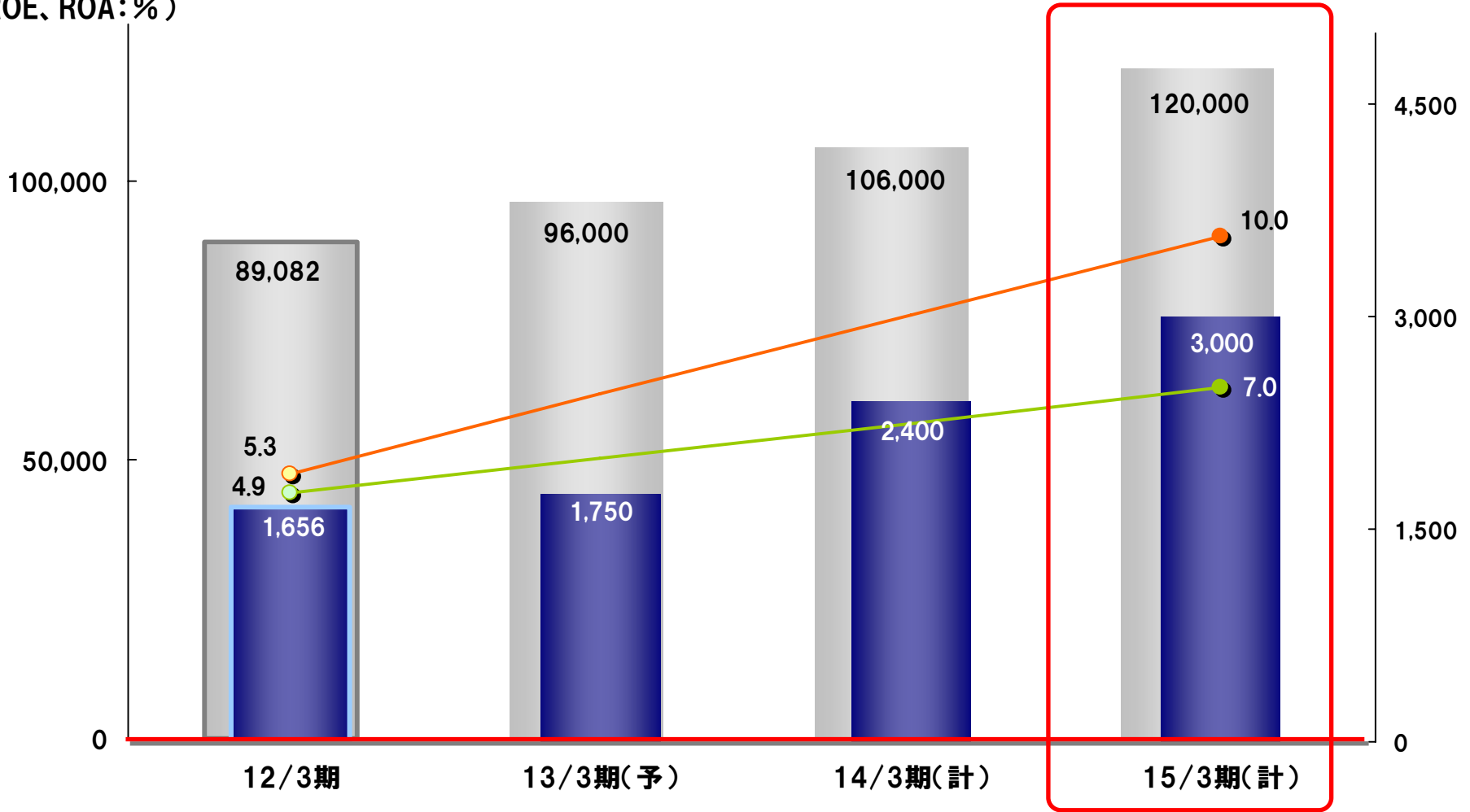
中期経営計画数値

(百万円)	2012年 3月期実績	2013年 3月期予想	2014年 3月期計画	2015年 3月期計画	対 2012年3月期実績	
					増減額	比 率
売上高 Net sales	89,082	96,000	106,000	120,000	30,918	135%
売上総利益 Gross profit	18,819	21,334	23,000	26,000	7,181	138%
営業利益 Operating income	1,621	1,850	2,600	3,100	1,479	191%
経常利益 Ordinary income	1,656	1,750	2,400	3,000	1,344	181%
経常利益率 Ratio of ordinary income to sales	1.9%	1.8%	2.3%	2.5%	+0.6P	—
当期純利益 Net income	693	780	—	—	—	—

JALUXグループ 通期業績の見通し - 全社連結 -

(売上高、経常利益:百万円)

(ROE、ROA:%)



■ 売上高 [左軸]

■ 経常利益 [右軸]

● ROE (自己資本当期純利益率)

● ROA (総資産経常利益率)

JALUXグループ 通期業績の見通し -セグメント別-

セグメント別 売上高

単位:百万円
Million yen

